

第34回全日本高等学校女子サッカー選手権大会関西合同研修

日程

2025年12月28日 研修

12月29日 1回戦

12月30日 2回戦

会場

五色台運動公園アスパ五色



参加審判員

中国 杵築歩那、宮崎希実、大嶋紗弥、大木千聖、吉田杏音

関西 徳山麻美子、松岡江利子、小西悠子、脇谷咲花、大谷美瑛、石川帆菜

若松さくら、中市里美、曾我忍、大森啓子、河津ゆみ香、西田有佳里

参加インストラクター

中国 前田拓哉

関西 大西保、吉田愛

割当

関西審判割当12月関西審判割当										2025/12/26	
月/日	曜日	開始時刻	全競技名称日本高校女子サッカー選手権		対戦カード		主審	副審1	副審2	第4審判	
12月	月	11:00	アスパ五色メイン	1回戦	【5】	高取国際高校	帝京大可児高校	オオシマ サヤ	ミヤザキ ノゾミ	ソガ シノブ	オオキ チトセ
		14:00	アスパ五色メイン	1回戦	【16】	鳴門渦潮高校	宮崎学園高校	大嶋 沙耶	宮崎 希実	曾我 忍	大木 千聖
	29日	11:00	アスパ五色サブ	1回戦	【2】	工大福井高校	三重高校	コニシ ユウコ	キヅキ アユナ	ナカイチサトミ	オオキ チトセ
		14:00	アスパ五色サブ	1回戦	【6】	四学香川西高校		小西 悠子	杵築 歩那	中市 里実	大木 千聖
12月	火	11:00	アスパ五色メイン	2回戦	【24】	【5】勝者		ワキタニサクラ	オオモリケイコ	トクヤママミコ	カワヅ ユミカ
		14:00	アスパ五色メイン	2回戦	【31】	日ノ本学園高校		脇谷 咲花	大森 啓子	徳山 麻実子	河津 ゆみ香
	30日	11:00	アスパ五色サブ	2回戦	【22】	【2】勝者		ニシダ ユカリ	イシカワハンナ	ヨシダ アノン	カワヅ ユミカ
		14:00	アスパ五色サブ	2回戦	【25】	作陽高校		西田 有佳里	石川 帆菜	吉田 杏音	河津 ゆみ香
		11:00	アスパ五色サブ	2回戦	【24】	【5】勝者	暁星国際高校	キヅキ アユナ	イシカワハンナ	オオキ チトセ	トクヤママミコ
		14:00	アスパ五色サブ	2回戦	【31】	日ノ本学園高校	【14】勝者	杵築 歩那	石川 帆菜	大木 千聖	徳山 麻実子
		11:00	アスパ五色サブ	2回戦	【22】	【2】勝者	ワカマツサクラ	オオシマ サヤ	ワキタニサクラ	ヨシダ アノン	
		14:00	アスパ五色サブ	2回戦	【25】	作陽高校	若松 さくら	大嶋 沙耶	脇谷 咲花	吉田 杏音	
		11:00	アスパ五色サブ	2回戦	【24】	【2】勝者	ミヤザキ ノゾミ	コニシユウコ	ソガ シノブ	カワヅ ユミカ	
		14:00	アスパ五色サブ	2回戦	【31】	日ノ本学園高校	宮崎 希実	小西 悠子	曾我 忍	河津 ゆみ香	
		11:00	アスパ五色サブ	2回戦	【22】	【2】勝者	オオモリケイコ	オオタニ ミエ	マツオカエリコ	カワヅ ユミカ	
		14:00	アスパ五色サブ	2回戦	【25】	作陽高校	大森 啓子	大谷 美瑛	松岡 江利子	河津 ゆみ香	

12月29日 高取国際高校 VS 帝京大可児高校



12月29日 涡潮鳴門高校 VS 宮崎学園高校

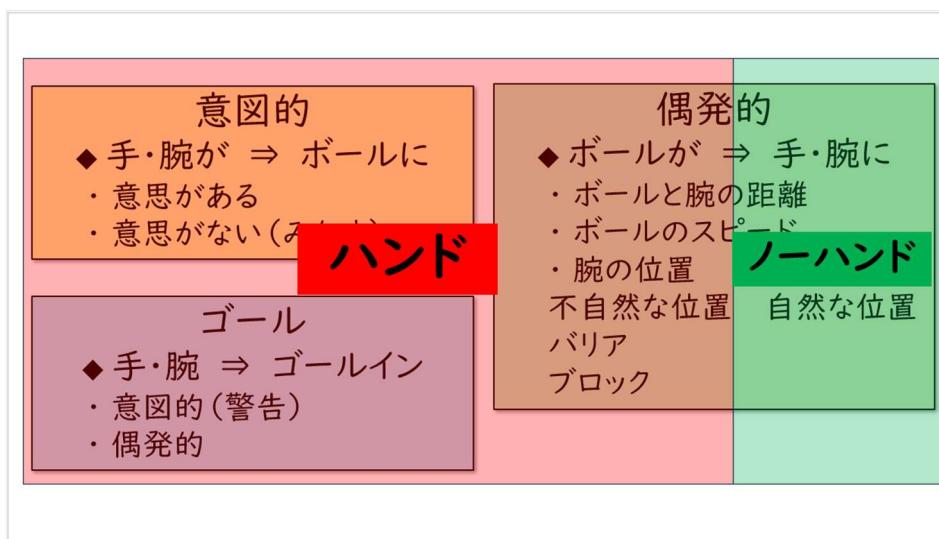


12月30日 日ノ本学園高校 VS 益田東



12月29日 研修

- ・ポジショニングと動きの修正について
- PA付近でプレーしている時のポジショニング
- 予測した動き方
- ・ハンドの反則



- ・負傷者マネジメント
- 担架、役員を入れるかどうか

感想

初めての関西の方との研修でとても新鮮な研修でした。印象的だったのは関西の方は自分の判定に自信を持ち、あらゆるところできっちりしようとゆうのが見えたところでした。そうゆうやり方、考え方があるんだと知ることができました。試合では、副審と主審をしました。副審では主審の方と目を合わせて副審としてできることをできたと思います。オフサイドの見極めはもっと磨かないといけないと思いました。主審ではスローインがポイントとなりました。競技規則をもっとしっかり読まないといけないと思いました。1試合を通してアセッサーの方に自信がなさそうと言われました。自分では自信もって判定しても外から見たら自信なさそうに見えていたので、周りからの見え方も意識しないといけないと思いました。

この2日間でたくさん学べてとてもいい経験ができました。この経験を生かしてこれからの審判に生かしていきたいです。

今回の大会では、副審と主審をさせていただきました。

副審ではラインキープ、オンサイドとオフサイドの見分け、主審ではポジショニングや自信のあるレフェリングなどを学びました。

研修会では、ゴールキーパーの保持のタイミング、ハンドの判定、ゴールキック・パントキック時のポジショニング、PKの監視分担、怪我時の役員対応のタイミングなどを学びました。

知らなかったことや新たに学んだことがたくさんありました。

今回学んだ知識や経験を今後の審判活動に活かし、より正確で信頼されるレフェリングができるよう努めていきたいと思います。

初めて全国大会で主審と副審を務めました。2試合ともワンサイドゲームではあったが、選手の気迫やスタンドからの応援を間近で感じ、全国大会ならではの緊張感を味わうことができました。その場の雰囲気を肌で感じながら試合をコントロールできたことがとても印象に残っています。また、関西地域の方々と初めて一緒に講義や審判活動を行い、新しい考え方や知識を学ぶことができ、貴重で有意義な時間となりました。

12月29日、30日で初めて全日本高等学校女子サッカー選手権大会で4審と副審をすることになりいろいろな経験を体験することができました。同世代の選手権で審判のことだけでなく他県のサッカーについても学ぶことが出来ました。選手からしたら同じ年の人に大事な試合の副審をされるということは私だったら嫌です。なので、嫌と思われないような立ち方やラインの見方に意識しながら自分が出せる最大のベストで取り組むことが出来ました。4審は初めてのことだったのでたくさんの人へ聞きミスをしないように慎重に頑張りました。選手権を経験し、課題が見つかったのでこれからも勉強しながら上の級を目指して頑張っていこうと思います。

今回の大会派遣で副審と第4の審判員を務めるにあたって課題設定をし、それぞれ改善点を見つけることができたのでそれを今後の活動に役立てていきたいです。また、2級の女子審判員の方とも交流し、試合映像についてディスカッションしたことで、難しい判定に対してより深く考察することができました。